

【巡回指導<3>】白河市立東北中学校(女子)

日程：2019年6月16日(日)

参加者：東北中学校(女子) 13名 / 難波先生

指導者：岡野弘子 (元岡山シーガルズ)

同行者：事務局 / 釜口実行委員長、藤野美緒



3回目の巡回指導は、岡野弘子コーチです。「以前のチームと比べて自分たちが変わったと思うことがありますか？」と岡野さんが問いかけると、「ゲーム中にプレーが乱れた時、立て直せるようになった。」「サーブが良くなった。」「サーブカットができるようになった。」「チームの雰囲気が良い時は、良いプレーができる。チームの雰囲気が悪い時は、プレーも悪くなってしまふ。」などの返事がありました。

次に、「県大会までに自分たちができる事は何だろう？」との問いかけには、「練習中から声を出すようにする。」「決まった時に喜びを表現する。」「練習でも試合でも同じことができるように、日頃の練習の時から気を付ける。」などの返事が返ってきました。自分達のチームを見る力もしっかりとついたと感じました。



先生からのご要望で、サーブカットからセッターへ、セッターからアタッカーへのトス、一連の流れやフォーメーションの確認をしました。プレー中でのミスの一つ一つ、今なにが起きたのか、誰がどうすれば良かったのかを確認しながら指導していただきました。

地区大会で、セッターのトスが二段モーション気味なので指導をお願いしたいとのことで、セッターのトスも確認していただきました。レシーブで上がるボールの判断や手の位置など、セッターとしてプレーされていた岡野コーチから、動きの確認とアドバイスをいただきました。

7月の県大会に向けて、チーム一丸となって練習に取り組み、一つでも多くの笑顔と喜びを手に入れて欲しいと思います。